

都市再生整備計画(第8回変更)

みつけ
見付地区

しずおかけん いわたし
静岡県 磐田市

平成22年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	磐田市	地区名	見付地区	面積	118 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

- 歴史・景観まちづくりによる「宿場町・見付」の活性化
 ①宿場町の風情を活かした魅力ある景観まちづくり
 ②商業と観光が盛んな賑わいのあるまちづくり
 ③楽しく安全で安心して歩くことができる歩行者優先のまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

見付地区は、江戸時代に東海道の宿場町として形成され、以後、商業の町として商家が軒を連ねてきたが、現状では商業と住居が混在する町に移行している。長い歴史の中で形成された町並みは、昭和49年から始まった街路拡幅整備により近代的な町並みに変化したが、そこには見付の持つ歴史性が活かされていない景観を見せている。一方、地区内に点在する歴史的建築物は、時代の流れとともに本来の役割が薄れ、取り壊されたり保全や修復されない建物が増えている状況にある。このような状況下、平成3年に建築士会、市職員、県職員及び地元住民による「歴史財を活かしたまちづくりの会」が発足し、歴史の息づくまちづくりについての報告書の作成や磐田市長への歴史財を活かしたまちづくりについての陳情を行っている。現在に続く活動としては、平成8年に地区の歴史的特性を活かしたまちづくりをしようと、地元有志による「見付宿を考える会」が発足し、見付地区のまちづくりや景観形成に関し数多くの提案を行っている。また、平成12年からは建築士会と市の主導による「見付地区景観づくりの会」が発足し、見付地区景観形成ガイドプランを策定するなど、地区内の景観基準について具体的な指針を示している。また、平成17年には景観法に基づく景観計画等の策定も視野に入れた「見付宿まちづくりプロジェクト」を発足し、見付地区の景観まちづくりについて官民協働で話し合いを行っている。このように見付地区では、ワークショップ、先進地視察などを始め、住民アンケート、まちづくり講演会などまちづくり活動が数多く行われており、市に対する数多くの提言がなされているが、事業化されているものがある一方で多額の費用がかかるものについては実現できていないのが現状である。

課題

- ・見付本通やそこから伸びる小路の景観に宿場町としての歴史性が活かされていない。
- ・歴史的建造物(赤松家・大久保家・土蔵群・一里塚など)の保存や活用について地元からの要望があるが、整備が行われていない。
- ・地区内に公共の駐車場スペースがないため、歴史的建造物等に訪れる人のための駐車場整備が必要である。
- ・当地区は周辺を広域幹線道路に囲まれており、通過車両が渋滞を逃れるため生活道路へ進入することが多く、交通安全上危険である。
- ・古くからの人口集中地区であるが交番がないため、地元から交番設置の強い要望がある。

将来ビジョン(中長期)

【磐田市都市計画マスタープラン】

歴史性を大切にし、宿場町や旧東海道筋をイメージさせる街並み形成を図るとともに、本通線とその周辺に数多く点在する社寺等の歴史的資源とが創り出している特徴的な空間構成を活かした景観形成・環境整備を進めていく。歴史的街並みの形成と併せて、歩行者に対する安全性や快適性、商業環境・空間としての魅力づくりに十分配慮した整備を図っていく。

目標を定量化する指標

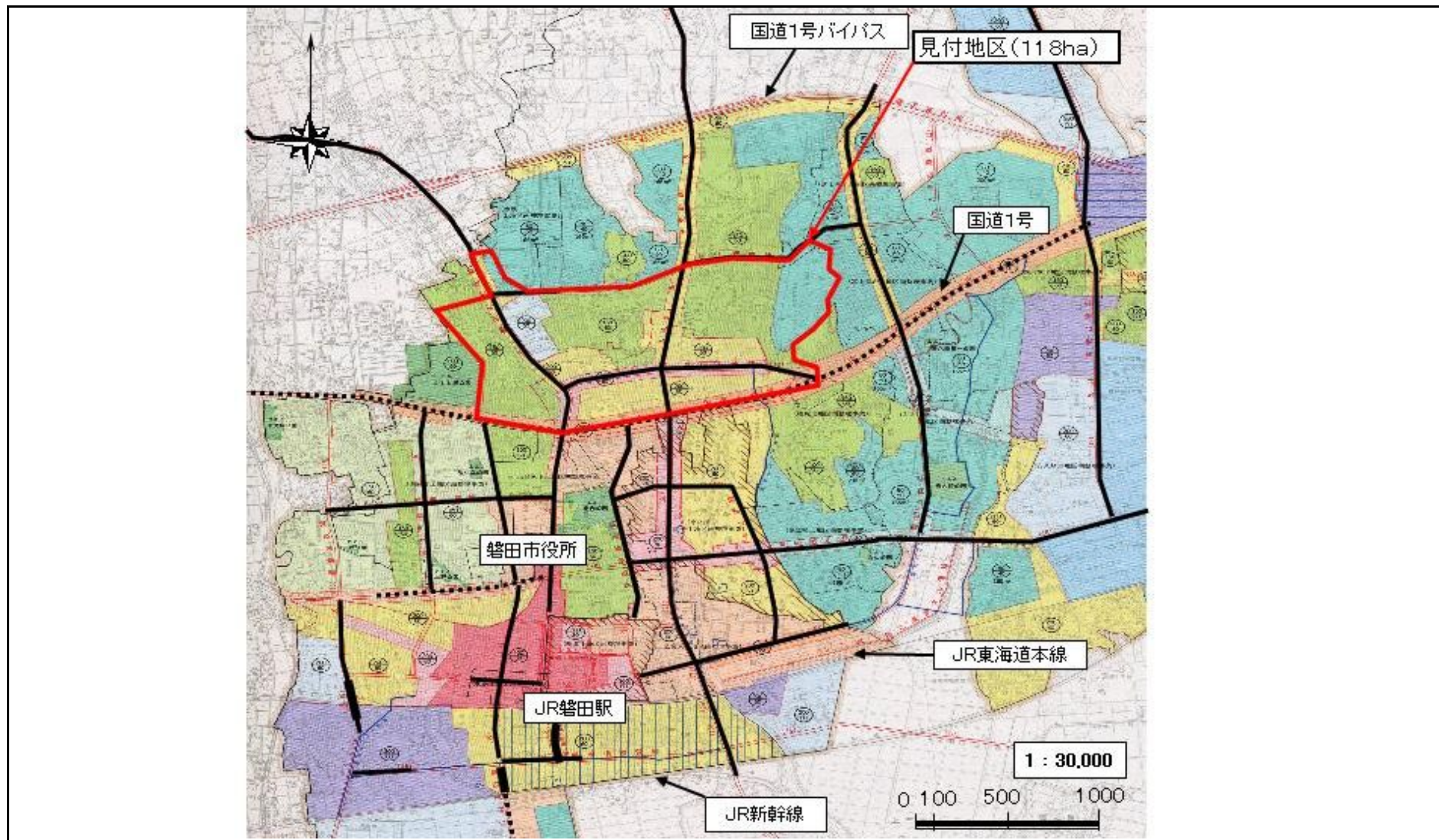
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
景観満足度の向上	%	H13実施の見付景観アンケート中、「景観として好ましくないと感じているところがある。」という設問に「ある」と回答した人の率。	宿場町としての特性を活かした景観まちづくりを推進し、来訪者に誇れる住民満足度の高いまちづくりを推進する。	40	H13	30	H22
観光交流客数の増加	人	地区内の代表的な歴史的資産である赤松邸・旧見付学校・矢奈比売神社を訪れる観光客の合計。	歴史的資産を活かした魅力と個性に溢れたまちづくりを行い、これらを最大限利用し商業と観光の振興を図る。	158,500	H16	178,500	H22
歩行者数交通量の増加	人	歩行者数/12H(7:00~19:00)	歩行者が楽しく安全で安心して歩くことができる回遊性の高い、また耐震性の高い、歩行者優先のまちづくりを行い、多くの買物客や来訪者で賑わうまちを形成する。	675	H16	742	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1 ・歴史的景観に配慮した街並みにするために電線類の地中化を行う。 ・見付地区の宿場町としての風情を活かすため、小路の石畳調化を行う。 ・景観まちづくりをより実効性の高いものにするため景観計画を策定する。	道路：市道見付本通線電線共同溝整備工事 高質空間形成施設：小路整備（石畳調化） 提案事業：景観計画策定、街路灯配線地中化工事
整備方針2 ・交流人口の増加を図るため、赤松邸・栗田家土蔵群・一里塚などの歴史的建造物の修理・修景・復元整備を行う。 ・観光客に中心市街地を散策してもらうため、散策路の石畳調化を行う。 ・中心市街地に観光バスのための駐車場整備を行う。併せてバスが進入できるよう駐車場前の交差点改良を行う。 ・計画区域内にある歴史的資産を保全・活用して、風格に満ちたまちを形成するため、公共施設の修景や地区内の建物の修理・修景助成を行う。	地域生活基盤施設：簡易パーキング整備工事、いこいの広場整備事業、案内看板設置事業、赤松家庭園整備事業 高質空間形成施設：簡易パーキングトイレ整備事業 既存建造物活用事業：脇本陣門移築復元工事、赤松家図書蔵整備事業 提案事業：栗田家土蔵群整備事業、一里塚整備事業
整備方針3 ・見付本通の歩道を拡幅し、マウンドアップをセミフラットとしてバリアフリー化を図る。 ・街路樹(けやき)の根が歩道側に伸び、平板ブロックが浮き上がり危ないので、街路樹の植え替えを行う。 ・見付本通の通過車両対策の一環として、見付天神線を整備し、通過車両の分散を図る。また、この整備に伴い歩行者の安心安全を確保するため、配水管の耐震化を図る。 ・地域の安心・安全及び歩行者の安全を確保するため交番を設置する。	高質空間形成施設：見付本通線歩道整備工事 提案事業：見付交番設置事業 関連事業：見付天神線整備事業（交通安全施設等整備事業） 提案事業：見付地区配水管布設工事
その他 ○庁内プロジェクトの設置 建設部長を本部長、産業振興部長と教育委員会事務局長を副本部長とし、関係各課の課長を委員として見付まちづくり推進本部を立ち上げ、見付地区の活性化と見付に残る貴重な歴史財を後世に引き継いでいくための指針の策定を行っている。また、関係各課の課長補佐又は係長で作業部会を設置している。 ○地元協議会の発足 見付地区の自治会、まちづくり団体4団体、商店街組織4団体、地元公民館長、地元民生委員、オブザーバー（市議会議員2名）及び公募委員の参加を得て、見付宿まちづくりプロジェクトを立ち上げ、景観計画の策定や「まちづくり交付金」事業について現在協議を行っている。 ○街並み景観の誘導を図るための方策について メインストリートの電線類地中化や小路の石畳化等に併せて、沿道景観誘導のための景観計画を策定する。このため、見付宿まちづくりプロジェクトで景観誘導のあり方について現在協議を行っている。 ○交付期間中の計画の管理について 交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実に効果をあげるために、市役所と見付宿まちづくりプロジェクトのメンバーが協働して、定期的に事業の成果や進め方について話し合い、計画の管理を行うための会合を開催する。 ○継続的なまちづくり 【主な取組事項】 当地区では、15年前から多くの団体により様々なまちづくり活動が行われている。 平成 3年 建築士会、市職員、県職員、地元住民をメンバーとする「歴史財を活かしたまちづくりを考える会」を発足し、歴史の息づくまちづくりを理念とした「遠江の国府 歴史の回廊一磐田」として報告書を取りまとめる。 平成 7年 県の「歴史のかおるまちなみ整備事業」の採択をうけ、「平成7年度磐田歴史財を活かしたまちづくり」整備計画書を作成。 平成 8年 地元有志により「見付宿を考える会」が設立。 平成 9年 「まちなみデザイン推進事業」の助成を受け、見付宿を考える会によりタウンウォッチング、ワークショップ、住民アンケート、先進地視察、見付天神祭ガイド作成、西村幸夫東大教授による講演会、パネル展等を開催。 平成10年 見付宿を考える会により先進地視察、住民アンケート、まちづくりワークショップの開催。 市が主体となり旧見付学校周辺整備調査を実施し、塔之壇等旧見付学校の周辺整備を提案。 平成13年 静岡県建築士会により見付景観アンケート、ワークショップ、先進地視察の実施、景観形成ガイドプラン策定の提案。 平成14年 建築士会及び市の主導により「見付地区景観づくりの会」を発足。 「見付地区景観づくりの会」により見付地区景観形成基準(案)作成。市による景観条例基礎調査実施。 平成15年 市により見付地区景観形成基準報告書作成。見付地区景観形成ガイドプラン作成。 平成16年 見付地区景観形成モデル事業補助金交付実施。 平成17年 地元協議会「見付宿まちづくりプロジェクト」発足。庁内組織「見付まちづくり推進本部」設置。 西村幸夫東大教授によるまちづくり講演会実施(平成18年2月)。 記載されているもの以外にも多くの活動が行われているが、事業終了後も活動は継続される。	

都市再生整備計画の区域

見付地区(静岡県磐田市)	面積	118 ha	区域	磐田市見付の一部
--------------	----	--------	----	----------



見付地区(静岡県磐田市) 整備方針概要図

目標	歴史・景観街づくりによる「宿場町:見付」の活性化	代表的な指標	景観満足度の向上 (%)	40	(13年度)	→	30	(22年度)
	①宿場町の風情を活かした景観まちづくり		観光交流客数の増加 (人)	158,500	(16年度)	→	178,500	(22年度)
	②商業と観光が盛んな賑わいのあるまちづくり ③歩行者優先のまちづくり		歩行者数交通量の増加 (人)	675	(16年度)	→	742	(22年度)

